

議 事 録

会 議 の 名 称	第3回 東金市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定委員会	
開 催 日 時	平成29年2月23日(木) 午前10時00分～	
開 催 場 所	東金市保健福祉センター視聴覚室	
委 員 長 氏 名	石田路子	
出席者(委員)氏名	前嶋里奈、三須芳雄、鎗田敏光、佐久間一夫、上木名慧子、鈴木小知子、山下恵子、川嶋正明、永田乙彦、遠山みつ子、片桐昭泰、植松孝子、今井宏美	
欠席者(委員)氏名	岡崎信彦	
事 務 局	東金市 中村、石渡、遠藤、宇野、漆島 東金市社会福祉協議会 荻野、北田、石井	
その他の出席者	守屋、山下(計画策定業務委託事業者 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所)	
会 議 事 項	1. 議 題	会 議 事 項
	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 (1) 協議事項 ①東金市第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画(素案)について ②パブリックコメントについて 4 その他 5 閉会	別紙のとおり
議 事 の 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料	・第3回東金市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定委員会次第 ・東金市第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画(素案) ・事前配布資料からの修正点	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 年 月 日 委員長の署名 _____ 委員長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)		

議 事 録

委員名については「委員A」「委員B」などと表記します。

発 言 者	議 題・発 言 内 容 及 び 決 定 事 項
事務局	<p>[開会] (報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の過半数の出席により本会議成立を報告（設置要綱第6条第2項） ・傍聴要領に定める傍聴人なし ・報酬のお知らせ
石田委員長	<p>[委員長あいさつ]</p> <p>おはようございます。今日はあいにくの雨ですが、お集まり頂きありがとうございます。</p> <p>私ごとなのですが、先週までロサンゼルスまで学生を連れて研修に行っていました。ロスは大変天気がよかったです、一番最後に30年ぶりというような大雨が降りました。</p> <p>ロングビーチとの住民の方にご協力をいただき、80人ほどの学生をホームステイという形で約10日間受け入れて頂きました。ホストファミリーは、ほとんどボランティアとして地域の住民の方々にご協力頂いております。</p> <p>先ほど申しました、30年ぶりの大雨が降った時は、カリフォルニアは雨に慣れていない町なので、道が水であふれたり、木が倒れたり、とても大変なことになりましたが、早めにホームステイ先のファミリーが学生を迎えに来てくれました。急なことなのに連携体制が取れていて、打ち合わせがなくても、住民が協力していろんなことを皆でやる、というボランティアの力が人々の中に根付いていることを非常に実感しました。</p> <p>アメリカというのは、もともとからチャリティーとかボランティアとか、人々の心の中に根付いているとは思いますが、私どもが今考えている「地域福祉」というものと、精神はどこか通じるものがあるのかも知れないと思います。もしも東金市で大規模な留学生等を受け入れるといったときに、一致団結できるような仕組みがあれば素晴らしいのですが、その素地は地道な地域福祉活動で耕されるのではないかと思います、皆様にご報告としてお話しさせて頂きました。</p> <p>本日も、策定に関わりまして、皆様にいろいろなご意見を頂きたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。</p>
事務局	
石田委員長	<p>[議事進行依頼]</p> <p>[資料確認]</p> <p>それでは事務局から、議事の事項になります、(1) ①②ですね。まずは①からご説明をよろしくお願い致します。</p>

<p>事務局（市）</p>	<p>〔経過説明〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関（18団体）へのアンケート調査を実施 ・市役所内部における各課への確認 ・2月17日庁内検討委員会開催
<p>石田委員長</p>	<p>〔主な変更点の説明〕</p>
<p>永田委員</p>	<p>事務局から、訂正修正についての説明がありました。 委員の皆様からご意見があれば、出して頂きたいと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>事務局（社協）</p>	<p>この資料について、どう読めばいいか教えていただきたい。 これは計画ですから、計画のことも書いてあるのだと思うのですが、10何地区にも分かれていますし、これをこれからの5か年計画として読み解くときに、どう見るのか教えて頂きたい。</p> <p>各論の部分は事業ごとになっていて、第2次計画においては、「地区別の活動に少し重点を置こう」という形で進んできています。 現行の計画は、市全体の取り組みだけですが、この計画は、地区の活動について客観的に盛り込んでおり、具体的に組み込んでいくことを表現したものと考えています。 地区社協では、これまでも地区単位で活動を進めてきていましたが、他の地区と自分たちの地区を見比べる一つのきっかけとしても、この計画が役立てられればと思っています。</p>
<p>石田委員長</p>	<p>社協側の説明を聞いて思ったことを申し上げます。 59ページには、東金第一地区の状況や課題、今回の調査で分かっていたこと、実際にこの地域で行われていることなどがまとめてあります。 今後、この地域の課題を解決していくときには、58ページにスケジュール、プログラムが書かれています。そうすると、「この資料に基づいて目標を立てていきましょう」と、取りかかることができます。 目標には「すぐに解決の方向が模索できるもの」「長期的な形で作るもの」といろいろあるので、2年という期間を設けているのではないかと思います。目標を立てた上で、実際の活動を検討することになりますが、その際の方針としてスケジュールが示されています。 ですから、あとは各地域、地区の状況に合わせていろいろな方にご協力頂きながら、特に委員の皆様を筆頭に進めていただけたらいいのかなと思います。その際は、テキストというか、ハンドブックのような形で、この計画を活用していただけたらと思いますがいかがでしょうか。</p>

<p>永田委員</p>	<p>例えば各地区ごとの計画がないので、この計画を私たちが読んで、あるいはよその地区と比べたり、いろいろなことをしながら、「自分のところでどういうことをしていこうか」と、地区社協で考えるのですか。</p>
<p>事務局（社協）</p>	<p>はい。そう考えております。</p> <p>この計画を作ることをきっかけに、一つでもいいので、テーマを絞って目標設定をして頂いて、例えば「2年かけて、なんとか解決していこう」というような考え方をしています。</p> <p>地区毎の計画についても、目標を立てて実現することが、自分たちの活動の自信になる、ということを繰り返すサイクルを作っていくのが、地域福祉が続いていくための一番の目標かなと思っています。</p> <p>おぜん立てして「活動だけしてください」というよりは、「皆さんが自分たちの思いで活動を。全地区がバラバラの活動でもいいんですよ」という形で、お話ししていこうと思っています。</p> <p>1月30日、地区社協の会長の連絡会の時には、活動が盛んな、県内東葛地区の地区社協の年度別計画も参考資料としてお渡しして、「この5年間で、自分たちで目標を立てて実行する年度を定めましょう」ということもお話しし、具体的に進めているところです。</p>
<p>石田委員長</p>	<p>他に委員の皆様からご質問とか、ご意見ございますか。</p>
<p>山下委員</p>	<p>先ほど、「計画の推進にあたって」では、市内にある事業者や団体といったものが地域福祉に貴重な社会資源になるということで、それを使うという話もありました。</p> <p>私たちの法人やグループも社会貢献ということで活動しています。そのことに対しての社会福祉協議会や市の具体的な取り組みについて、ご説明頂ければと思います。</p>
<p>石田委員長</p>	<p>事業所と地域と協働していく方法について、どのように取り組んでいくか説明を頂ければということです。</p>
<p>事務局（市）</p>	<p>社協の活動としては、施設をお持ちの事業所・法人につきましては、近年の例ですと、正気地区の地区社協のお楽しみ会では、ポータブルトイレ、職員の派遣をして付き添ってもらおうということをしていたり、源地区の施設では、お楽しみ会に施設の利用者をお招きして交流しています。</p> <p>芙蓉荘も、東金市で最初にできた特別養護老人ホームですが、当初は盆踊りの踊り手の呼びかけとか、各地域からボランティアの派遣、協力をしてたりとか、今までの状況として、地域と接点があるのかなと思っ</p>

	<p>ております。</p> <p>それ以外に、実績ですと、私たちが認知症サポーター養成講座を地区で行うときに、講師としてお招きして、一緒に話をして頂くとか。逆にボランティアグループが話し相手だとか、施設に協力できることはないかとか。</p> <p>源地区では、福福の里から地域との福祉避難所的な協力を結びたいというご相談がありまして、地区社協単位ではなく、源地区という区全体で取り組んだ方がいいのでは、と悩んでいるところです。</p> <p>接点を増やしていくところで、事業所の方にやはり専門的な知識や経験を地域の方に投げかけていただく部分で、近づいて一緒にやっていく協力体制が作れば、今あるものから、可能であれば地区を広げていければなと考えています。</p> <p>地区によって拠点の有無もありますので、その辺は変えていかないとはいませんが、私たちもPRしていくことで、協力体制が築いていけるかなと思っています。</p>
事務局（市）	<p>今、社会福祉協議会で、各地区の実情を説明させて頂きました。</p> <p>31 ページの一番下「団体等が取り組むこと」で、この中にも事業者の取り組みについて加えております。</p> <p>今の話の内容そのものですが、「地域における福祉活動や行事へ積極的に参加、連携し、地域との交流や利用者、地域の接点づくりに努めます」と、事業者の方々にも積極的にかかわって頂きながら、地域福祉の活動促進につなげていく内容としており、計画上、このような文言で定めています。</p>
石田委員長	<p>よろしいでしょうか。</p>
山下委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>「地域のために何かしたい」という思いが、事業者もそうですし、法人にもあると思いますので、発信したものを受け入れてくださる窓口やシステムができてくると、社会資源になってくると思います。今後、具体的に考えていって頂ければと思います。</p>
石田委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>住民にとって、本当に身近な社会資源ということで、今、イベントや活動を通してという事例もありましたが、例えば政策的にも、施設の中でのボランティア活動をもっと積極的に導入していくといったものもあります。</p> <p>介護保険の中ですと、ちょうど介護予防や生活支援事業でも、通所と訪問のAとBがあります。そのあたりでも、住民の方にどんどん中に入っていただく仕組みがもっと進めば、住民にとって非常に身近な施設と</p>

	<p>というのが、さらに促進されるのではないかと思います。</p> <p>今後の政策の中で、流れはみな同じ方向を向いていると思いますから、ぜひその方向で進めていただくということで。</p> <p>他に委員の皆様、いかがでしょうか。</p> <p>今回、変わった点についてはご確認いただけたかと思いますが表現も含めていかがでしょうか。</p> <p>私が最初にこの資料を頂いて気になった点がひとつあります。厚生労働省の新たな政策として「地域共生社会」とあったので、「こういうものがまた出たんだな」と思って読んでいたんですが、3 ページに『我が事』として地域社会に参加できる仕組み」という文章、「我が事」と急に出たので、すごく違和感があったんです。</p> <p>厚労省でもこういった協議会があって、そこの委員が「我が事のように云々…」と言ったものを、厚労省の職員が文章化する、ということがあります。確かに言わんとすることは分かりますが、これはどちらかというと、「多様な主体が自らの地域社会の課題に主体的に取り組んでいくことが求められる」という言葉にした方がいいと思うんです。</p> <p>29 ページにも、「我が事」とありますね。厚労省の職員が新しく出してきた単語をそのまま受け入れてもいいのですが、普通の言葉でも伝わるとと思います、と事務局にはお伝えしています。</p> <p>事務局からは、最終的な文言については検討するという話がありました。最終段階に近付いておりますので、ぜひ皆様方におかれましても、「こういう言葉の方が受け入れられるのでは」とお気付きの点についてはご指摘いただければと思います。</p>
鈴木委員	<p>64 ページ②、2 番目にある「田間物語」の内容がわからないので教えてもらえればと思います。</p>
事務局 (社協)	<p>住民の方から出た意見なので、固有名詞のまま入れているのですが、田間地区の「まちづくり協議会」が、去年今年と企画している、ふれあいセンター前でのリレーマラソンのタイトルです。</p> <p>「まちづくり協議会が行っているものを継続していきたい」というのが、この趣旨だと思っております。</p>
石田委員長	<p>地域の人には当たり前でも、他の方が読むと想像がつかないものもあると思います。他にもあれば今のように出して頂ければと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>では、この地域福祉計画・活動計画につきまして、概ねこの方向で進めていくということで、宜しいでしょうか。</p> <p>(「はい」の声あり)</p>

<p>石田委員長</p>	<p>ありがとうございました。皆様方のご賛同を頂きました。この基本的な方向で進めていくことで宜しくお願い致します。</p> <p>では、協議事項(1)②「パブリックコメントの実施」につきまして、事務局からご説明をお願いします。</p>
<p>事務局(市)</p>	<p>〔説明〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素案を公表し、市民の意見を広く募集する。期間は30日間。 ・意見があった場合、委員長・副委員長と事務局で計画への反映について協議し、結果を委員へ報告することを事務局案として提示
<p>石田委員長</p>	<p>パブリックコメントにつきましては、今のような経緯で進めていくこととなります。</p> <p>市民の皆さんからのご意見があった場合は、それを踏まえることになろうかと思えます。</p> <p>今、お手元にある素案は、委員の皆様方のご意見、それからいろいろなアンケートも取っておりまして、最終的にパブリックコメントも行うという形です。これ以上の大きな文言の修正や、もう一回やり直しということはないだろうと思っています。</p> <p>ただ、先ほど申し上げました通り、もう一回改めて読んでみると、「この点だけがよくわからない」といったことはあろうかと思えます。そういったことにつきましては、皆様方にも提出して頂きたいと思えます。</p> <p>あとは、全員にお集まりいただくのではなく、事務局とこちらの委員長・副委員長を交えた形での協議で決めさせて頂くということにしたいと思えますが、いかがでしょうか。</p> <p>（「はい」の声あり）</p> <p>パブリックコメントと、今後の対応の進め方について、皆様のご賛同を頂きました。ありがとうございます。</p> <p>では、最終的に皆様方のご意向をいつ頃まで出せばよいか、事務局からお願いします。</p>
<p>事務局(市)</p>	<p>〔説明〕・1週間程度</p>
<p>石田委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>おおむね今月中、遅くとも1週間というところで、お気づきの点を事務局に提出していただければと思います。</p> <p>では、本日の予定された議題につきましては、以上ですべて終了ということにさせて頂きます。皆様のご協力を頂き、スムーズに議事が進行しました、ありがとうございます。</p>

事務局	<p>委員長始め委員の皆様、慎重審議、誠にありがとうございました。その他につきまして、事務局よりご説明致します。</p>
事務局（市）	<p>[今後のスケジュールについて説明]</p>
遠藤副課長	<p>最後に、中村市民福祉部長より一言ご挨拶申し上げます。</p>
中村部長	<p>本委員会に参集して頂き、ご意見を頂きましてありがとうございました。今回の委員会をもちまして、策定委員会につきましては終了となります。</p> <p>ただ、計画を作っておしまいということではなくて、先ほど社会福祉協議会からお話がありましたとおり、地区の計画というものは、これから目標を立てて進めていくものです。</p> <p>前にも私からお話しさせて頂きましたが、将来的には4割近い高齢化率の地区も出てきます。その時には、住民の方が当事者意識というか、自分の問題として捉えることが非常に重要だと思っています。</p> <p>そのために、市としても、これから皆様、地域の中に入っていく算段を付けなくてはいけないと思っております。委員会は終了しますが、これからも皆様からのご意見を頂いたり、ご指導を頂いたりすると思しますので、その時にはご協力を宜しくお願いいたします。</p>
事務局	<p>[閉会]</p> <p style="text-align: right;">以上</p>